本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。



CASIO
アラーム・1/10秒ストップウオッチ・デュアルタイム
アラーム クロノ

ンドなどに変色や破損を生ずる場合がありますのでご注意ください。

保　管　長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふき取り、高温、多湿の場所をさけて保管してください。

電池交換について

最初の電池　工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。

消　耗　電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「見にくくなったり」「表示が消えたり」します。

●消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

電池交換　電池交換は必らずお買上げ店または最寄りのカシオサービスセンターにお申しつけください。

●電池は必らず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。

液晶パネルの交換について

液晶パネルは約7年を過ぎますと数字や文字が読みにくくなる場合があります。その時はお買上げ店または最寄りのカシオサービスセンターに交換をお申しつけ下さい。実費にて申し受けます。

製品仕様

水晶発振周波数：32,768Hz
常温携帯精度：平均月差±15秒以内
表示方式：FE型液晶デジタル表示
基本機能：時刻表示＝時・分・秒・午前／午後
　カレンダー表示＝年・月・日・曜日 フルオートカレンダー
アラーム機能：時刻アラーム　セット単位＝分　電子ブザー＝30秒間
　時報　毎正時に2回電子ブザーで報時
デュアルタイム機能：表示内容＝時・分・秒
ストップウオッチ機能：計測単位＝1/10秒　計測範囲＝59分59秒9（60分計）
　計測機能＝通常計測、積算計測、ラップ計測、1・2着同時計測
セット機構：時刻・カレンダーセット機構、秒合わせ機構（±30秒クリア）
　アラームセット機構、デュアルタイムセット機構
その他：自動復帰機能　モニターアラーム
主要回路素子：音叉型高性能水晶振動子　ワンチップC/MOS-LSI
使用電池：No.370　（電池別途販売）
電池寿命：約2年（1日当りライト1秒、電子ブザーを30秒使用した場合）

時刻・カレンダーの合わせ方

電池交換後など時刻やカレンダーが合っていない場合は、以下の方法で合わせてください。

(1)「操作のしくみ」にしたがいⒸボタンを押して時刻セットモードにします。

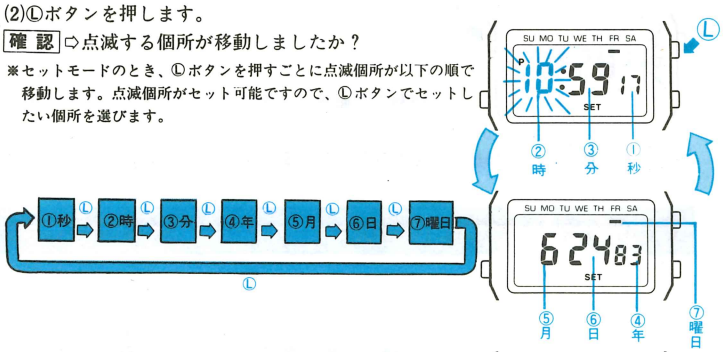
確認 ⇨〝秒〟が点滅していますか？



(2)Ⓛボタンを押します。

確認 ⇨点滅する個所が移動しましたか？

※セットモードのとき、Ⓛボタンを押すごとに点滅個所が以下の順で移動します。点滅個所がセット可能ですので、Ⓛボタンでセットしたい個所を選びます。

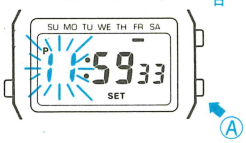


(3)Ⓐボタンを押します。

確認 ⇨点滅している表示が1つ進みましたか？

※Ⓐボタンを押すごとに点滅個所が1つずつ進み、押し続けると早送りができます。

注）〝秒〟のときは表示が00になります。⇨「秒の合わせ方」参照



Ⓛボタンでセットしたい個所を選び、Ⓐボタンで表示をセットするという操作をくりかえしおこない、時刻・カレンダーを合わせてください。
1)「時」のセットのとき午前(不点灯)/午後(P)にご注意ください。
2)年は必ず西暦下2桁をセットします。

(4)セットが終わったら(どの個所が点滅していても)、Ⓒボタンを押すと時刻表示に戻ります。



●カレンダーは月末およびうるう年を自動判別するフルオートカレンダー（1980年～2019年）ですので一度合わせれば電池交換時以外は修正する必要はありません。

●鳴っている電子ブザーを止めるにはⓁボタンを押します。

●他表示への切替え
ストップウオッチを使用中にⒸボタンを押して時刻表示など他の表示にしてもその計測には影響ありません。ただしラップ計測時（LAPが点灯）にこの操作をしますとラップは解除されます。

●モニターアラーム
アラーム表示のとき、Ⓐボタンを押し続けると電子ブザーが鳴ります。

●自動復帰機能
時刻セットモードやアラーム、デュアルタイムのセットで表示を点滅させたままにしたり、アラーム表示のままにしておくと1～2分後自動的に時刻表示に戻ります。

ご使用上の注意

温　度　直射日光が長くあたったり、高温になる所に放置しないでください。
また、寒い所に長く放置しないでください。
●遅れ・進みが生じたり、止まったり、電池寿命が短くなることがあります。
また、＋60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。

防水性　●裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されているもの
洗顔や雨など日常の使用に耐える構造になっていますが、水泳・入浴・洗車時などでのご使用はお避けください。
【防水性能を保つために定期的(2～3年を目安に)なパッキン交換をおすすめします。】
●裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されていないもの
防汗構造となっておりますが、防水時計ではありませんので、直接、水に触れるようなご使用はお避けください。

ショック　通常の使用状態でのショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが落としたり、強くぶつけると故障の原因になります。

磁　気　磁気の影響はありません。

お手入れ　ケースやバンドの汚れ、汗、水分などは吸湿性のよい柔らかい布でふき取り、常に清潔にしてご使用ください。金属バンドについては時々、柔らかい歯ブラシなどによって、石けん水でスキ間にたまった汚れを部分洗いすることをおすすめします。
●汚れたままですとサビたり、衣類の袖口を汚したり、皮ふの弱い方はかぶれたりする場合があります。

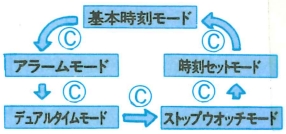
薬品類　水銀や化学薬品（シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類）が付着するとケース、バ

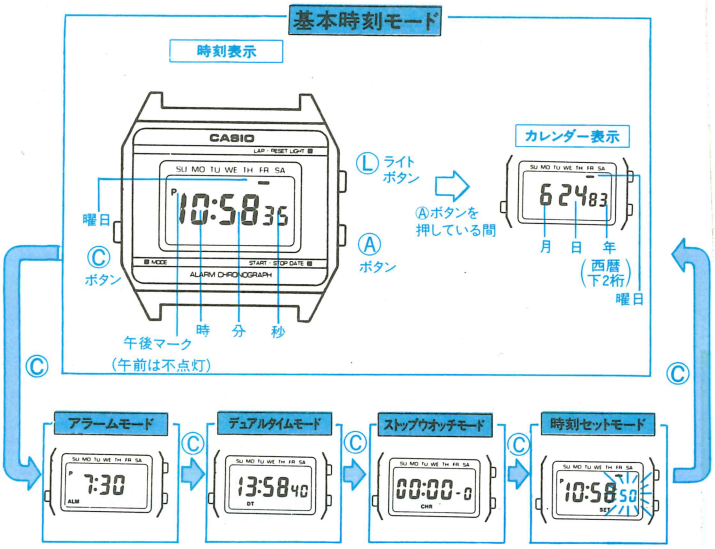
時計のお取扱いで、万一、誤ったボタン操作を行なっても、製品に障害を与えることは一切ありません。この時計の特長、機能を十分使いこなしていただくためにも、ご納得のゆくまでお試しください。

操作のしくみと表示の見方

Ⓒボタンを押すごとに右図の順でモードが切替わります。(押すごとに確認音が鳴ります)
※各モードでⒶまたはⓁボタンを押した後、Ⓒボタンを押すと直接時刻表示に戻ります。

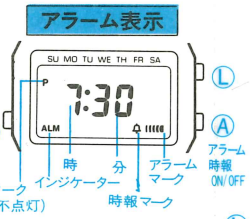
※詳しくは各機能の項目をご覧ください。





アラーム機能の使い方……操作のしくみにしたがい、Ⓒボタンを押し、アラームモードにします。

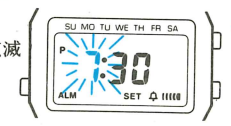
確認 ⇨ ALM——インジケーターの点灯



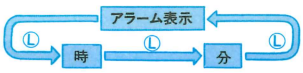
アラームは分単位でセットでき、セット時刻になると、30秒間電子ブザーで知らせます。
また、毎正時(00分のとき)を〝ピッピッ〟と電子ブザーで知らせる時報もセットすることができます。

●セットのしかた

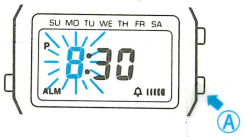
(1)アラーム表示のとき、Ⓛボタンを押すと「時」が点滅します。
※ SET——インジケーターが点灯します。



(2)Ⓛボタンを押すごとに点滅個所が右図の順で移動します。



(3)Ⓐボタンを押すごとに点滅個所が1つずつ進みますので、Ⓛボタンでセット個所を点滅させ、Ⓐボタンでセットをおこないます。
※Ⓐボタンを押し続けると早送りができます。
注)「時」のセットのとき午前(不点灯)／午後(P)にご注意ください。



(4)セットが終わったら、Ⓛボタンを押してアラーム表示に戻します。
※Ⓒボタンを押すと、「時刻表示」に戻ります。



●アラーム、時報のON/OFF

アラーム表示のとき、Ⓐボタンを押すごとにアラームマーク ▮▮▮▮ 、時報マーク 🔔 が以下の順で点灯、不点灯をくりかえします。アラームマークまたは時報マークが点灯しているときがONの状態です。
※Ⓐボタンを押すごとに確認音が鳴ります。

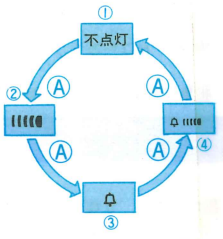


①アラームマーク、時報マークが消えているとき
——→アラーム、時報ともOFF

②アラームマークのみ点灯しているとき
——→アラームのみON

③時報マークのみ点灯しているとき
——→時報のみON

④アラームマーク、時報マークが点灯しているとき
——→アラーム、時報ともON



デュアルタイムの使い方……操作のしくみにしたがい、Ⓒボタンを押し、デュアルタイムモードにします。

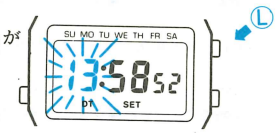
確認 ⇨ DT——インジケーターの点灯

デュアルタイムとは基本時刻のほかに海外時刻などもう一つの時刻をセットできる機能です。
※24時間制で表示されます。



●セットのしかた

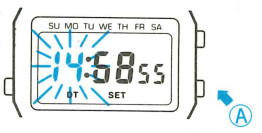
(1)デュアルタイム表示のとき、Ⓛボタンを押すと「時」が点滅します。
※ SET——インジケーターが点灯します。



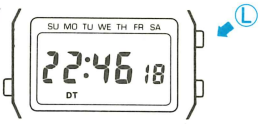
(2)Ⓛボタンを押すごとに点滅個所が右図の順で移動します。



(3)Ⓐボタンを押すごとに点滅個所が1つずつ進みますので、Ⓛボタンでセット個所を点滅させ、Ⓐボタンでセットをおこないます。
※Ⓐボタンを押し続けると早送りができます。



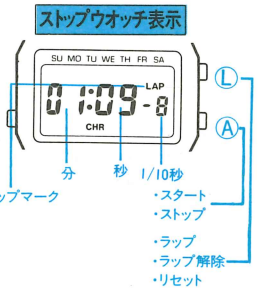
(4)セットが終わったら、Ⓛボタンを押してデュアルタイム表示にします。
※Ⓒボタンを押すと「時刻表示」に戻ります。



ストップウオッチの使い方……操作のしくみにしたがい、Ⓒボタンを押し、ストップウオッチモードにします。

確認 ⇨ CHR——インジケーターの点灯

ストップウオッチは 1/10 秒単位で 59分59秒9 まで計測でき(60分計)、以後自動的に0に戻って計測し続けます。
★計測のしかた……Ⓐボタンを押すごとに操作確認音が鳴ります。



●通常の計測

Ⓐ スタート ⇨ Ⓐ ストップ ⇨ Ⓛ リセット

※積算計測……ロスタイムのある場合には、ストップ後リセットせずに再スタート(Ⓐボタンを押す)すれば表示タイムに引き続き計測をはじめます。

●ラップタイム(途中経過時間)の計測

Ⓐ スタート ⇨ Ⓛ ラップ計測 ⇨ Ⓛ ラップ解除 ⇨ Ⓐ ストップ ⇨ Ⓛ リセット

●1着・2着のタイム計測

Ⓐ スタート ⇨ Ⓛ 1着がゴール(1着タイム表示) ⇨ Ⓐ 2着がゴール ⇨ Ⓛ 2着タイム表示 ⇨ Ⓛ リセット

秒の合わせ方……30秒以内の遅れ進みの修正

月に1度ぐらいこの「秒合わせ」をしていただくと、時計はいつも正確です。

(1)「操作のしくみ」にしたがいⒸボタンを押して時刻セットモードにします。



(2)時報に合わせて、Ⓐボタンを押すと「秒」が点滅しながら00からスタートします。

秒表示が00～29のときは切捨てられ、30～59のときは1分くりあがって、00秒からスタートします。

※時報は「時報サービス電話117番」が便利です。



(3)Ⓒボタンを押すと時刻表示に戻ります。

